

令和7年1月7日部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和7年1月7日（火） 午前8時35分から午前9時26分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、経済産業振興部長、観光文化部長、スポーツ部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・年末年始の善光寺の参拝客が新型コロナ前を上回る多さであったとの報道があり、海外のお客様の後押しなどがあったからであると思う。一方で、物価高騰が続く中、厳しい経済状況を背景とした生活への不安・心配から訪れているとも考えられる。行政として、市民の不安や心配に寄り添いながら、的確な政策をしっかりと実施していくべきだと感じたところである。市長任期も最後の1年を切っている状況だが、市職員の皆さんの協力により、市はしっかりと頑張っていると評価いただけるよう取り組んでまいりたい。
- ・昨年を振り返ると、能登半島地震の発生以降、不安の中で新年が始まった。市政においては、1月から子どもの福祉医療制度の対象範囲の拡大、教育支援センター「SaSaLAND」やながのこども館「ながノビ！」が無事にスタートするなど、子育て支援関係の取組についてはかなり評価をいただいていると思う。その一方で、地域公共交通や中山間地域の課題、高齢者福祉関係について、不十分ではないかという指摘もあるのが現実である。新年度予算編成においては、県の方向性や国の新たな取組など、様々な社会的・政治的な変化も把握しながら、最後の編成作業を進めていきたいと思うため、協力いただきたいと思う。引き続き「長野市の強みを活かした未来への投資」を進め、市民の暮らしの安心・安全、経済の活性化に向け、市民が期待できるような予算にしていきたい。

1 協議事項

（1）令和7年度組織・機構の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料1参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（2）長野市北部勤労者活躍支援センターの設置及び管理について（経済産業振興部）

標記事項について、経済産業振興部長から説明した。（資料2参照）

○質疑

[市長] 説明のあった案件に直接関係ないかもしれないが、私が考えている「公共施設のフル活用」について、皆さんと意見を共有し、一緒に考えたい。例えば、若い人たちからは学習スペースを増やして欲しいと直接言われることがある。先日も、TOiGO 内の生涯学習センターに行った時に事務室前の交流サロンで子どもたちが勉強をしていた。そこに居た高校生から、「もっとテーブルを増やしてください」と言われた。公共施設には目的や機能などがあると思うが、市民のニーズや子どもたちの学習意欲に応えられるような場所の提供を積極的に考えていただきたい。

また、地域公民館については、人口が減って、地域のためならお金を出しても良いと考える人も昔に比べれば少なくなっているのではないかと。そのような中、市の補助があるものの、お金を集めて地域公民館を再建築する、あるいはリフォームする費用の捻出に市民の皆様が困っていると思う。市民の不安感や負担感に寄り添いながら、公共施設を使ってもらえるような柔軟な対応をしていただきたいと思います。我々としても、様々な場所を提供しながら、対応できたら良いと思う。結果として、公共施設の活用が拡充していけば良いと思う。

○今後の方向性

原案を了承

(3) 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定について（都市整備部）

標記事項について、都市整備部長から説明した。（資料3参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(4) 水道料金の見直し及び長野市水道ビジョン・水道事業経営戦略（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長から説明した。（資料4参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

2 一括議論・一括承認事項

(1) 長野市森林経営管理計画（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（農林部）

標記事項について、農林部長の説明省略。（資料5参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

3 その他

(1) 地域計画の策定について（農林部）

標記事項について、農林部長から説明した。（資料6参照）

○質疑なし

<スポーツ部長から>

- ・12月に発生したスポーツクラブ指導者（市職員）による暴力行為について報告があった。

<都市整備部長から>

- ・ながのこども館について、昨年7月28日の開館から12月28日までの5ヵ月で、当初想定した約4万人を大幅に上回る約7万2,000人の皆様に来館いただいた。当初の想定を上回った理由は、平日における団体利用を含めた小学生等の来館が多かったことである。また、想定よりも大人の来館が多かったことから収益の増加にも繋がっている状況である。

- ・開館から昨年12月28日までとしてきた市民の皆様を対象としたオープン割引については、引き続きご利用いただけるよう、開館から概ね1年の本年夏頃まで継続することとした。今後、より良い施設となるようサービスの一層の充実に努めていきたい。

以上